

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎6550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

「ごみ減量」を学ぶ

上駒月自治会で出前講座を開催
6月17日(日)に開催された上駒月自治会総集会において、出前講座が行われました。これは町内のグループ・団体で、聞きたい内容をメニューから選んでもらい、町の職員が出向いてお話しするものです。

この日は「あなたにもできる、ごみ減量・リサイクル」と題して、住民課生活環境交通担当の職員が日野町のごみの現状や課題、「ごみ減量の方法などをスクリーンを使って説明しました。

参加者から、ごみの野焼き行為の禁止や生ごみ処理容器の補助金に関する質問などが積極的に出され、ごみ減量・リサイクルの大切さについて理解を深める機会となりました。



▲「ごみ減量・リサイクル」の話を熱心に聞く上駒月の皆さん



▲「高いところにも手が届くよ」

▶「いっぱい遊んでもらったよ」



お兄さんお姉さん、また遊んでね

日野中学校3年生保育実習

6月下旬から7月上旬にかけて、日野中学校3年生が保育実習であおぞら園とわらべ保育園を訪れました。これは、総合的な学習の一環として行われるもので、幼児とふれあう楽しさや命の尊さを学ぼうとするものです。

6月25日(月)、あおぞら園では、中学生たちが園児たちと一緒にサッカーや砂遊び、シャボン玉遊びなどをして遊びました。お兄さんやお姉さんに遊んでもらいたい、大はしゃぎの園児たち。

最後に、園児が鯉になって中学生たちの腕の上を跳びはねて進む「鯉の滝登り」で大いに盛り上がりました。

実習時間が終わり、帰っていくお兄さんお姉さんたちを、子どもたちはいつまでも手を振って見送っていました。



▶園児が鯉になる「鯉の滝登り」



まちのわだい

お父さんお母さん先生

西大路幼稚園の保護者が先生役に

西大路幼稚園では、保護者が先生になって保育に参加する取り組み「お父さんお母さん先生」が毎年春と秋の年2回行われています。これは、親が自分の子どもやほかの子どもを知ること、子育てを学ぶためのものです。

今年6月に3日間行われ、6月27日(水)は、5名の保護者が参加し、園児と一緒に砂遊びや滑り台遊びをされました。丘を利用した水の滑り台では、歓声を上げて滑る子供たちに思わず笑顔のお父さんお母さん先生。

「ふだん遊べていないので、子どもとじっくり遊べるのが楽しいです」、「家では見られない表情が見られます」と感想を話されていました。



▲「キャーッ」スリル満点の大きな滑り台

シカ・イノシシ肉を堪能

野生獣肉でフランス料理

7月4日(水)、ブルーメの丘内のレストランにおいて、JAGグリーン近江主催のジビエ料理※の講演会が行われ、町内外の飲食店関係者が参加されました。

これは、県の「獣害のない元気な里づくり推進事業」の一環で、長野県にあるジビエ料理レストラン「エスポワール」オーナーシェフ藤木徳彦さんによるフランス料理におけるシカ・イノシシ肉の調理指導と試食がありました。参加者は、「イノシシのベーコンがおいしい。シカの肉も柔らかくて臭みがなく、工夫次第で美味しくなることが分かりました」と試食の感想を話していました。



▶ジビエ料理を実演しながら参加者に解説する藤木シェフ

「青い眼の人形」は友情のあかし

「青い眼の人形」フォーラム開催

80年前の昭和2年、アメリカから日本の小学校へ約13,000体の友情人形が贈られました。そのひとつが日野小学校にあるマリオンベイビーのメリーちゃん。今まで影の存在だったメリーちゃんを見直そうと実行委員会(市田美枝子会長)により7月14日(土)、日野公民館において「青い眼の人形」フォーラムが開催されました。

青い眼の人形を研究されている中尾勝一さんの講演の後、当時の贈呈式で児童代表として、人形を受け取られた池田ゆきさん(90歳)が、そのときの様子を語られる場面もありました。



▶「ピンクのビロードの服を着ていました」と当時の人形の様子を話される池田ゆきさん(中央)